

令和6年度第4回うきは市地域公共交通活性化協議会 議事録

日時:令和7年2月10日(月) 14:00~15:30

場所:るり色ふるさと館 2階

出欠状況

・委員(21名)

出席 15名【うち代理2名】、欠席6名

1.開会

設置要綱第7条第2項に基づき会議成立を報告。

2.会長あいさつ

計画については最終版の確認。来年度からは計画に基づいて実施する。実施方針が協議の対象。ここで終わりでない。来年度以降も引き続きお願いしたい。

3.経過報告

(1)計画評価事業について

〔主な説明内容〕

前回の協議会で多くの意見をいただき、内容を精査し、基本方針の見直しとそれに伴う計画評価事業についての承認を書面協議にて協議した。計画評価事業については、修正箇所について承認をいただいたので「A」評価として提出。

(2)計画案について

〔主な説明内容〕

①前回の協議会后、意見を12月25日までいただき、計画案の修正。

②パブリックコメント12月27日~1月25日まで30日間実施。HP、自治協議会、市役所窓口にて閲覧。

③最終案の作成とパブリックコメント、意見に対する考え方を回答として作成。最終案を送付後、追加で意見があったので、再度追加修正を作成。協議事項(1)で説明する。

4.協議事項

(1)うきは市地域公共交通計画(案)について

〔主な説明内容〕

基本計画の変更については、書面決議において意義なし。前回協議会内容やその後の委員からの意見、パブリックコメント(37件、7名)の内容を反映し、最終案を作成。今回の案を最終案とし、軽微な修正のみ行い3月議会へ上程したい。

評価指標についての根拠説明。R5年度の実績を基に、目標は令和11年度。R11年度はAIオンデ

マンドの導入を見据えた内容。利便性向上のためやはり財政負担はふえているが、目標以上の利用者数をあげ、人が移動することによる経済や健康増進・介護や医療費等の減少などの効果による財政負担の減少、また、取組に応じた補助、助成金の獲得を目指し、これ以上に負担が増えないよう取り組んでいくことを考えている。目標値は高くなっている。

〔主な質疑応答〕

(委員) タクシー事業者としては、うきは市内に交通空白地はないと思っている。電話一本あればタクシーは行ける。タクシー事業者としての懸念は、近隣の八女市であった事例。八女市はまちなかにデマンドタクシーが走り、タクシーを利用していた人が安価なデマンドに流れた。廃業した会社もある。無くなったものを復活させるのは難しい。留意してもらいたい。

(事務局) 精査し、今後よく協議して進めていきたい。

(委員) 財政負担は目標設定では減らすのが普通だと思うが、これから様々な事業していくので高くなっていると思う。今後状況に応じて見直していくところでよいかな。

(事務局) 概ねこの数値でいきたい。大きくかけ離れた場合、見直していきたい。

(委員) スクールバスについて計画の中に含まれなかったのは残念だが、学校教育課の感触は。

(事務局) 現在スクールバスについては小学生のみの移送を行い、中学生は保護者が行っている。中学生の移送について要望書が出ている。バスの定員や小中学校再編の話題もあるためすぐには回答が出せないが、AI 移行に向けて検討、協議を進めていきたい。学校教育課も前向きに検討している。

(委員) 住民の方から議会へもスクールバスの要望書出てきている。離れている生徒は10キロ以上ある。県道に鹿やイノシシ等が出ており、そこを自転車で行くのは危険であるという意見。麓までの小学校まででも良いという意見をもらっている。

(事務局) 学校教育課とも共通の課題。子どもたちの安全を守るためにも協議していきたい。

●議案のとおり承認する。(3 月議会に上程し、策定。策定後はホームページ掲示予定。パブリックコメントに関しても抜粋しホームページ掲示予定。)

(2) 令和7年度事業実施方針について

〔主な説明内容〕

①神杉野線については、許可申請を事業者から提出、4/1 運行チラシの配布を行う旨の報告。

②次年度AI活用型デマンド交通導入について、現段階で事務局として検討している内容の説明とイメージの共有。この内容を次年度は中心に協議予定。

・市民からのニーズ調査等からもより柔軟で利便性の高い運行経路や運行間に対応するため、AIを活用した公共交通サービスの提供による実証実験を開始したい。また、運行者の担い手不足等への対応により持続性をたかめ、市内全体のデジタル化の推進も図っていきたい。

・AIデマンド交通とは、AIにより効率的な配車やルート設定により、利用者が予約された場所にリアルタイムに最適配車を行うもの。これまで手組でダイヤ、配車表を作成していたものが、設定により乗降場所であるミーティングポイントから目的地までを乗合をしながら効率的に運ぶことができる。事

前予約が基本。

・スケジュールと方向性について、実証実験については、10月以降で開始し、約1年間内容を見直しながらい、令和8年度10月を本格運行開始として目標としたい。実証実験の内容としては、うきはバスを運行している平野部を先行して開始し、段階的に山間部の予約制乗合タクシーについても導入が適切か検討していきたい。

・導入に係る経費等については、システム導入や環境整備、周知に係る経費。令和8年度以降はランニングコストのみとなる予定。運行業務委託は、うきは市タクシー協会にお願いしたいと考えている。各所との調整等運営支援業務委託、そして車両の確保が必要。車両については今後、スクールバス等との併用も見据え10人乗りは必要と考え、3台を予定。購入まで時間を要する場合にはタクシー協会に協力をお願いするかもしれない。

・経費については、国や県の補助を活用しながら財政負担を軽減していきたい。課題としては、運転手の確保や関係各所との調整、営業時間や料金の設定などがある。内容が固まったら、住民周知をしっかりと行い、全世代の多くの方にとっていただく施策をとっていくことが重要。各地区自治協議会や高齢者部門や観光部門関係各所との協力により進めていきたい。

〔主な質疑応答〕

(委員) 今後の協議会のスタンスは。本格運行することが決まっているのか、本格運行するために今後協議していくのか。

(事務局) 本格運行していきたい。本格運行に向けた実証実験をしていきたい。

(委員) プロポに関して協議会で検討するのか。市である程度整備するのか。

(事務局) 市である程度の仕様書を作り、分科会などで諮るなどしていきたい。

(委員) 車両の納入があるまでが借上げということか。3台分の購入も含めて予算計上しているのか。なかなか乗合にならないのに10人乗りが走るのはもったいない。借上げをしてある程度見込めるようになってから購入してはどうか。

(事務局) 借上げと購入の分を合わせて予算計上している。補助金の関係もあり今後の活用など視野に入れて計上している状態。具体的に決まったら示したい。

●議案のとおり承認する。

(3) その他

(事務局) 「JRうきは駅」についての報告。JRうきは駅についてこれまで簡易委託での駅係員の配置を行っていたが、令和7年4月より駅係員が終日不在となる。

経緯については、JR久留米駅駅長の城戸委員、簡易委託を行っているうきは観光みらいづくり公社の田籠委員より説明する。

(城戸委員) うきは駅の窓口のみらいづくり公社の方が常駐しているが、端末の経費と切符売上とを鑑みての判断。自動販売機では100キロ圏内まで購入可能。企画切符等はHPでも購入可能。定期券・特急券などについては最寄りの駅の筑後吉井駅での購入可能。

(田籠委員) JRうきは駅業務は、平成27年4月からうきは市観光協会が委託。令和元年に組織見直しによりうきは観光みらいづくり公社が引き続き業務を行ってきた。業務に必要な切符販売の端末

が今年度末をもって撤去されるということで JR 九州と締結していた業務を3月で終了することとした。駅業務の主な部分を占め乗車券や定期券などの販売がなくなるということで業務契約を終了する。うきは観光みらいづくり公社としては、旅行者やインバウンドの方へ案内が出来なくなるが、看板等で観光客などへ迷惑にならないように考えている。

●質問なし

5. 諸連絡

(事務局) 次年度委員の引継ぎ等について、任期は2年。推薦いただく所属団体からの推薦があれば職を解かれた方でも可能。7年度1回目の協議会は4月に開催予定。案内を3月に現委員に通知予定。もし4月以降に交代等ある場合は事務局に出欠の確認とともにお知らせ願いたい。

6. 閉会

<令和6年度第4回うきは市地域公共交通活性化協議会 委員名簿>

No.	区分	要綱	所 属 ・ 役 職	氏 名 (敬称略)	役員	2/10 出欠	代理出席者(敬称略)
1	委員	1号委員	西鉄バス久留米株式会社 常務取締役 営業本部長	下川 裕二		○	
2	委員	2号委員	うきは市タクシー協会 会長 (浮羽交通株式会社 代表取締役)	古賀 公彦		○	
3	委員	3号委員	一般社団法人福岡県バス協会 専務理事	中川原 達也		代理	一般社団法人福岡県バス協会 事務局次長 河津 隆幸
4	委員	4号委員	久留米駅 駅長	城戸 洋平		○	
5	委員	5号委員	うきは市社会福祉協議会	高山 敏枝	副会長	○	
6	委員	5号委員	新川地区自治協議会 地域活性部副部長	高松 恭子		×	
7	委員	5号委員	福富地区自治協議会 事務局長	内藤 一成		○	
8	委員	5号委員	うきは市障がい者福祉協会 会長	重富 浴夫		○	
9	委員	5号委員	うきは市老人クラブ連合会 事務局長	川原 唯男		×	
10	委員	5号委員	うきは市PTA連合会 吉井中学校PTA会長	川迫 昭博		○	
11	委員	5号委員	福岡県立浮羽真館高等学校PTA副会長	長沼 秀彦		×	
12	委員	5号委員	うきは市議会議員	高木 亜希子		○	
13	委員	6号委員	九州運輸局福岡運輸支局長	古賀 秀策		代理	九州運輸局 福岡運輸支局 企画調整担当課長 首席運輸企画専門官 川野 一代 九州運輸局 福岡運輸支局 企画調整担当課長 首席運輸企画専門官 辻 美貴善
14	委員	7号委員	福岡県交通運輸産業労働組合協議会 (西鉄グループバス労働組合 執行委員長)	箴島 健嗣		×	
15	委員	8号委員	うきは警察署 交通課長	麻生 浩二		○	
16	委員	9号委員	福岡県久留米県土整備事務所 企画班 地域整備主幹	中島 伸二		×	
17	委員	10号委員	九州産業大学 理工学部 情報科学科 教授	稲永 健太郎	会長	○	
18	委員	11号委員	うきは市 副市長	重松 邦英	副会長	○	
19	委員	11号委員	うきは市 市長公室長	吉松 浩		○	
20	委員	13号委員	うきは観光みらいづくり公社	田箆 正規	監事	○	
21	委員	13号委員	福岡県企画・地域振興部交通政策課 課長補佐	三重野 直美		×	